

経営比較分析表（令和6年度決算）

佐賀県 伊万里市

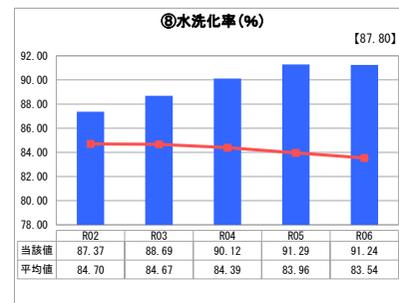
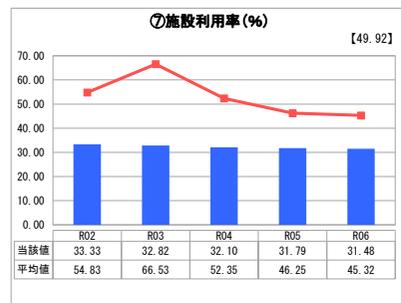
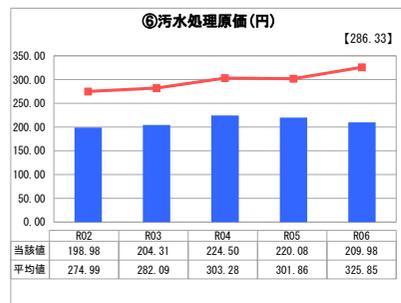
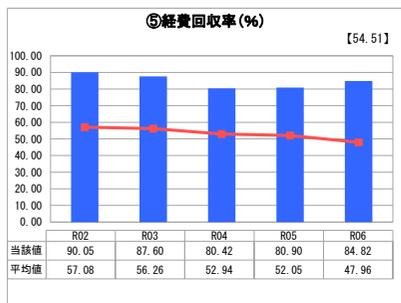
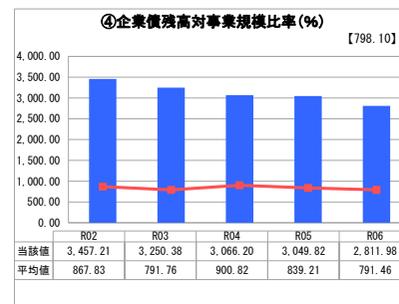
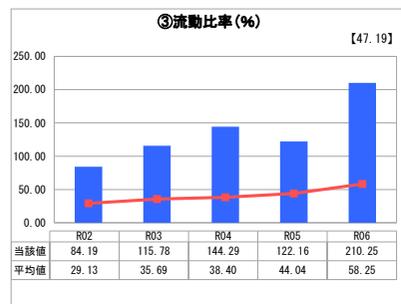
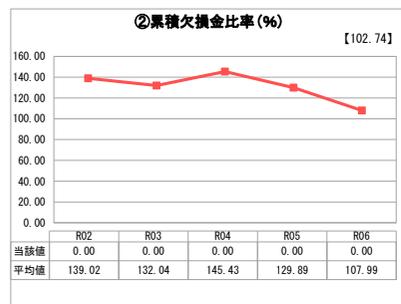
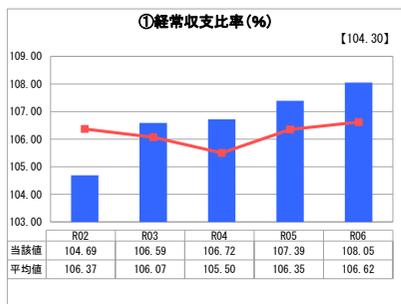
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	72.49	3.07	103.20	3,480

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
51,664	255.24	202.41
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,575	0.93	1,693.55

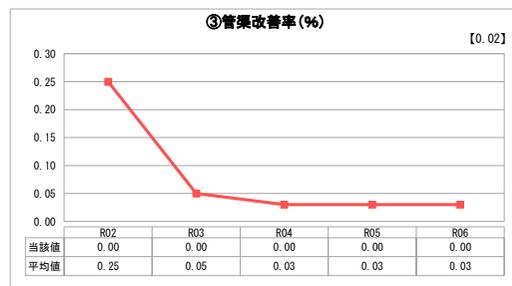
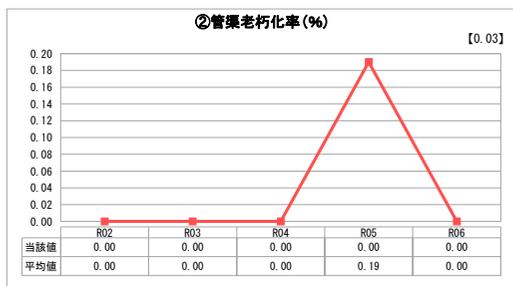
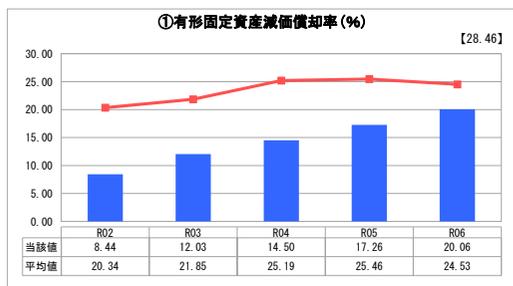
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率(108.05%)
類似団体平均(106.62%)を上回り、良好な収支バランスを保っている。
- ② 累積欠損金比率(0.00%)
欠損金はなく経営は健全である。
- ③ 流動比率(210.25%)
類似団体平均(58.25%)を大幅に上回り、短期的な資金繰りは安定している。
- ④ 企業債残高対事業規模比率(2,811.98%)
類似団体平均(325.85%)より高く、効率的な運営がなされている。
- ⑤ 経費回収率(84.82%)
類似団体平均(47.96%)より高いものの、依然として繰入金に依存する部分がある。
- ⑥ 汚水処理原価(209.98円)
類似団体平均(325.85円)より低く、効率的な運営がなされている。
- ⑦ 施設利用率(31.48%)
類似団体平均(45.32%)を下回っており、処理水量の減少が課題である。
- ⑧ 水洗化率(91.24%)
類似団体平均(83.54%)を上回る普及状況である。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率(20.06%)
更新需要はまだ限定的だが、将来の負担増を見据えた積立が必要である。
- ② 管渠老朽化率(0.00%)
老朽化は進んでいない。
- ③ 管渠改善率(0.00%)
現時点では維持管理センターの対応となっている。

全体総括

- ・ 人口減少に伴う需要の減少
公共下水道事業と農業集落排水事業の経営状況を見ながら、使用料の見直しについて検討する必要がある。
- ・ 施設の更新費用
最適整備構想に基づき、計画的な修繕と更新を実施する。
- ・ 公営企業に係る人材確保
自治体の技術職員不足と民間事業者の供給能力の低下が同時に進行しているため、効率的な運営方法を検討する必要がある。
- ・ 物価高騰等の営業費用増加
事務の効率化による経費節減を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。